

スピリチュアル物語

196話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

- Skypeセッション 1時間\$80 / 90分\$115
- メール相談 簡易コース\$15 / 通常コース\$40



「191話でも少し触れたが、怒ることと叱ることとは似ている様に見えるが、出ているエナジーには雲泥の差がある。怒る行為は自分だけが可愛い自己中心的な愛からのものじゃが、叱るという行為は相手のことを想った真の愛から出ている。つまり、怒るといっものは自分に重きがあり、叱るといっものは相手に重きがあるとも言えるかのう」マグワートの言葉に、「何処に基準があるかに拠るといっことですか？」マジョリアルが反応する。「そうじゃな。怒りは歪んだ自己愛を満たす為のものであり、叱るのは真に相

手を想っている気持ちの現れじゃ」「歪んだ自己愛？」ウイザットが質問をする。「自己愛そのものは悪いものではなく、ありのままの自分としての価値を認め自分を大切に想う心であり、それは各々が自分として生きていく為には必要なものじゃ。しかしながら：それが歪んでいると自己愛が過剰に自分に向くこととなり、自分のみが偉大で正しく、自分のみが素晴らしい人間であり、他者はそれを証明する為に存在している：というような感覚にもなり兼ねない。そうなる：他者が自分の意図に反した行動を

した場合、それが許せなくなり怒りとして噴出してしまふんじゃよ」「つまり：この世で自分のみが主役で、他の人は全て脇役：もつと言えは：自分が王様で他の人は家来、みたいな感覚かな？」王子であるウイザットがちよつと複雑な表情をする。「暴君であればそうじゃる。でも王様とて人柄によっては自己愛が歪んではないこともあるぞ」マグワートがウイザットの心中を慮ってフォローした。



★これまでのお話(1~195話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 9月29日号につづく